



目次

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

第4回交通バリアフリー推進の集い 優秀賞募集中です(9月15日まで)

第4回交通バリアフリー推進の集い 開催します(11月14日)

交通バリアフリー推進の集い冊子配布について

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

都市交通再生&地球温暖化対策セミナー in 八戸～公共交通から考える“環境”そして“まちづくり”～
コミュニケーション支援用絵記号デザインがJIS化

点字テプラが販売されました

第4回ピポ・ユニバーサル駅伝

第4回誰でも楽しもう霞ヶ浦 体育の日大会

(3) エコモからのお知らせ

バリアフリーボランティアモデル事業

市民と進める福祉の交通まちづくり セミナー(大阪池田市)開催します

今年も第32回国際福祉機器展 H.C.R2005に出展いたします

アクセシブルデザインフォーラム・シンポジウム2005

旅客船ハンドブック「旅客船バリアフリー基準の解説」を発行しました

参加型・福祉の交通まちづくり～交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ～発刊しました

バリアフリー学習図鑑(CD-ROM)の公開

らくらくおでかけネット

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

(4) 行政からのお知らせ

ユニバーサルデザイン政策大綱が公表(国土交通省)

「公共サービス窓口配慮マニュアル」の発行について(内閣府)

～すべての人々が安心して生活できるバリアフリー環境を目指して～(国土交通省)

交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況(国土交通省)

(5) 各種催し物のお知らせ

日経住まいのリフォーム博2005

第32回国際福祉機器展 H.C.R2005

福祉用具展 in 杜の都2005

REHA CARE(リハケア)国際リハビリテーション展(ドイツ)

第14回全国ボランティアフェスティバル 火の国くまもと

Mediphar Taipei 2005(台湾)

第18回全国健康福祉祭ふくおか大会 ねんりんピックふくおか2005

P.P.C. 2005 第7回西日本国際福祉機器展

2005光州国際シルバー博覧会(韓国)

高齢、障害と自立に関する国際会議(アメリカ)

バリアフリー2006

(6) その他

書籍に関して

記事募集中

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について ・送付先について

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

第4回交通バリアフリー推進の集い 優秀賞募集中です(9月15日まで)

来る11月14日(月)「第4回交通バリアフリー推進の集い」の開催を予定しております。

交通バリアフリーの一層の推進を図るため、全国の交通バリアフリー推進に関する取組のうち、先進的な事例や他の範とすべき優秀な事例を、広く皆様に紹介していくことを予定しております。

様々な交通バリアフリー推進に関する取組の中から幅広く優秀事例を集め紹介していくことで、交通バリアフリー推進に貢献して参りたいと考えております。

交通バリアフリー推進に関する優秀事例としてふさわしい取組について、ご応募、ご推薦ください。皆さまからたくさんのご応募、ご推薦をお待ちしております。

なお、9月15日(木)を締切とさせていただきます。詳細は、下記をご覧ください。

http://www.ecomo.or.jp/itami_sengen/tudo4/tudo4.htm

第4回交通バリアフリー推進の集い 開催します(11月14日)

第4回交通バリアフリー推進の集いを、11月14日(月)に開催することとなりました。

参加ご希望の方は、ホームページから直接お申し込み頂くか、FAXに必要事項をご記入の上、お送りください。(ご所属、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号、FAX番号、E-mail、ご希望される連絡方法)

http://www.ecomo.or.jp/itami_sengen/tudo4/sanka_youshi.htm

FAX: 03-3221-6674

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

交通バリアフリー推進の集いの当日配付資料(平成15年度、平成16年度)をご希望の方は、ご連絡ください。 FAX: 03-3221-6674 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

都市交通再生&地球温暖化対策セミナー in 八戸～公共交通から考える”環境”そして“まちづくり”～
地球温暖化の問題が深刻化する中で、運輸部門の二酸化炭素排出量の抑制が重要な課題となっており、車両の環境負荷低減対策はもちろんのこと、環境負荷を軽減するための交通政策・都市計画のあり方が問われています。

そこで、八戸市では「環境立市」の理念をふまえて、公共交通を活かした魅力的なまちづくりのあり方を探るための公開セミナーを開催します。また、このセミナーでは、地域交通(東北地方・青森県内)の実状と課題、並びに新しい交通システムとして注目されているDRT(需要応答型交通)の先進事例を紹介するとともに、パネルディスカッションによる意見交換・情報共有を通じて、八戸市がめざすべき都市・地域交通の方向性を検証します。入場は無料で、どなたでも参加できます(事前申込みが必要です)。

日時/平成17年10月11日(火)午前10時開会

会場/八戸グランドホテル(青森県八戸市番町14)

問い合わせ/八戸市企画部政策推進室 TEL 0178-43-2111 内線662

http://www.city.hachinohe.aomori.jp/koho/oshirase/news_17_044.html

コミュニケーション支援用絵記号デザインがJIS化

経済産業省は、4月20日に、「コミュニケーション支援用絵記号デザイン原則(JIS T0103)」の規格を制定しました。

この規格は、文字や話し言葉によるコミュニケーションの困難な人が、自分の意思や要求を相手に的確に伝え、正しく理解してもらうことを支援するための絵記号に関する日本工業規格(JIS)です。なお、この絵記号は共用品推進機構のホームページでダウンロードできます。

<http://www.kyoyohin.org/>

点字テプラが販売されました

株式会社キングジムから、点字も印字できるテプラが発売になりました。墨字との併記や点字のみの印字も可能。一般のテプラとしても使用することもできます。

詳細はこちらまで <http://www.kingjim.co.jp/products/electronic/tepra/sr6700d.html>

第4回ピポ・ユニバーサル駅伝 <http://www.npocs21.com/>

競技スポーツのタイムレースではなくチームの目標タイムを目指して、ふれあい、支えあいの楽しさを体験します。チームマネージャーや伴走ボランティアを含め、10人1チームの仲間づくりを行います。ただいま、選手として登録していただける方を募集しています。

日時：9月25日(日)

場所：明治神宮外苑 絵画館コース

最寄駅：JR 信濃町駅(エスカレーター付き)、大江戸線国立競技場駅(エレベーター駅)

参加費：500円(昼食、ドリンク付)

問い合わせ：NPO法人CS21・ピポ駅伝事務局

TEL03-3350-1388 FAX03-5360-3633 E-mail:staff@npocs21.com

第4回誰でも楽しもう霞ヶ浦 体育の日大会

開催日：平成17年10月10日(月)体育の日

日程：9:30 受付開始 イベント開催 10:00~15:00

参加費用：500円(保険代他、船に乗る人は全て必要です)

募集人数：50名 募集締め切り日 10月5日(水)

申込み先：京成マリーナ 〒300-0033 土浦市川口2-12-6

Tel029-822-2437 fax029-826-2839 E-mail: keiseimarina@minos.ocn.ne.jp

担当 営業部 加固久雄 坪田

主催：セイブリー・土浦、協賛：セイブリージャパン、京成マリーナ、京成ホテル

協力：土浦一校ヨット部OB会、日本海洋ジャー安全振興協会、ヤマ発動機販売(株)霞ヶ浦市民協会、筑波技術短大生話クラブ、筑波技術短大バンド「ザ・ラガ」筑波大SAS、土浦市社会福祉協議会、障害者加協、斉藤乗馬苑。

【イベントのご案内】

1. 高速遊覧船初体験号：小学生以下は無料で乗船出来ます。
2. フリッパ-広場では乗馬体験：小型の馬ポニーに500円で乗れます。
3. 車椅子トライアル体験：設定された障害物コースを走りながら、車いすの取り扱いや介助の仕方を学べます。無料
4. お昼の生演奏会：筑波技術短大のサトウグループ「ザ・ラガ」によるバンド演奏。無料
参加者は下記の体験イベントをすべて楽しめます
1. 誰でもヨット操縦体験：絶対に沈まないヨット「アクスティンガー体験」あなたは10分で船長さん。
2. 大型モーターボートで霞ヶ浦の水質・環境勉強会体験クルーズ：霞ヶ浦の水質を見てみよう。驚くほど沢山のプランクトンが見られます。
3. モーターボート免許はどうして取るの体験クルーズ：「法改正により障害者のボート免許取得が簡単になりました。」ボート免許に興味のある方や、車いす利用者や聴覚・視覚障害をお持ちの方、ぜひ参加下さい。試験教官が質問にお答えしながら実際の試験コースを試験艇で走ります。
4. 大型ヨットでセリングし霞ヶ浦の広さを体験しようクルーズ：大型ヨットに乗船して優雅にそしてダイナミックに霞ヶ浦を体感してください。リッチな気分になること間違いなし。
5. 加、ヤック乗船体験：水と一体になろう。水面から出る浮力効果により日々のストレスを発散してください。

この企画は、ボランティアの大切さや、障害者や子供たち、青年、ご年配の方と、年代や障害者という、垣根を越えた世界の中で、「ふれあい」をとうして、お互いを知り、分かり合える場を創ればよいと思っております。

(3) エコモからのお知らせ

バリアフリーボランティアモデル事業

国土交通省では「心のバリアフリー」社会の実現に向けた取り組みの一つとして、バリアフリーボランティアモデル事業を本年度全国5カ所で実施します。

ハード（施設）面でのバリアフリー化が拡充されつつも、それだけでは十分に対応しきれない状況もあり、人による付加的な対応が必要になる部分があると考えられます。また、公共交通機関を利用する時の様々なサービスが機械化される中で、人的な対応を行うことが利用者に安心感をもたらすという面もあります。

交通事業者の従業員による対応もさることながら、多様なニーズに柔軟性をもって応えるにはボランティアなどの市民の力に依拠した展開が必須と考えられます。NPO やボランティア等の取り組みと十分に連携を図りつつ、駅及びその周辺においてボランティアモデル事業を実施することにより、一般の人々の意識啓発、人による対応の組織化・活性化を促進するための地域と密着した取り組みを推進し、モデル事業を通じて得られた知見を活かし、人による移動円滑化の支援のあり方等制度化を検討することになっています。

各地の実施予定

関東地区 (http://www.ktt.ml.it.go.jp/topics/0507_kamioooka/index.htm) 終了

実施場所：横浜市営地下鉄・京浜急行 上大岡駅

実施期間：8月1日～31日

実施内容：午前9:30～午後5:00まで、改札口付近を中心に市民ボランティアが常駐して、駅利用者のお手伝いをします。

東海地区 (<http://www.barifuri.com/>) 終了

実施場所：JR東海・近畿日本鉄道 鳥羽駅

実施期間：8月1日～31日

実施内容：午前10:00～午後4:00まで、駅を利用する障害者、車いす利用者、高齢者、赤ちゃん連れの親子などの介助、案内、誘導をお手伝いします。

近畿地区 (<http://www.kkt.ml.it.go.jp/news/files/1124264807.pdf>)

実施場所：阪急 石橋駅、商店街、バス停などの周辺地域

実施期間：9月28日～10月30日

実施内容：午前10:00～午後4:00まで、移動支援や案内を希望される方へのお手伝いをいたします。

中国地区 (<http://www.cgt.ml.it.go.jp/koukan/oshirase01.html>)

実施場所：JR西日本 広島駅 及び 広島バスセンター、宇品旅客ターミナル

実施期間：9月1日～9月30日

実施内容：午前9:00～午後6:00まで、お年寄り、体の不自由な方などお困りの方の切符購入、車両の乗り換えや通路、階段の移動等のお手伝いをします。

九州地区

実施場所：JR九州・肥薩おれんじ鉄道 八代駅

実施期間：8月22日～9月22日

実施内容：詳細については検討中

市民と進める福祉の交通まちづくり セミナー（大阪池田市）開催します

3月4日、東京都千代田区にて「市民と進める福祉の交通まちづくりセミナー」を開催いたしました。今回は池田市のご協力により、書籍をテキストとしながら、執筆者からの解説や専門家によるパネルディスカッションを踏まえ、市民参加の実現を考えるセミナーを開催いたします。なお、当日は手話通訳をご用意いたします。

詳細はこちら http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/h17seminar/050929seminar/seminer_osaka.htm

<書籍「参加型・福祉の交通まちづくり」について>

セミナーご参加の方は本書籍をテキストといたしますので、購入の有無を本申込書（裏面）にご記入ください。当日、会場にて直接販売いたします。なお、当日お買いあげの方に限り、消費税

サービスとさせていただきます。

書籍についてはこちら <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakugei/mokuroku/book/ISBN4-7615-2357-3.htm>

主催：池田市、交通エコロジー・モビリティ財団

共催：国土交通省近畿運輸局、(財)国土技術研究センター

後援：大阪府、大阪交通科学研究会、(財)関西交通経済研究センター、関西鉄道協会、国土交通省近畿地方整備局、土木学会関西支部、土木学会土木計画学研究委員会、日本都市計画学会関西支部、日本福祉のまちづくり学会関西支部、兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所(五十音順)

日時：9月29日(木)13:00~16:40

場所：池田市民文化会館 コンベンションルーム <http://www.azaleanet.or.jp/sisetsu/bkaikan.html>
〒563-0031 大阪府池田市天神1-7-1 Tel:072-761-8811

定員：150名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

参加費：無料

プログラム

開会挨拶 池田市長 倉田 薫氏

基調講演：福祉の交通まちづくりへの提言

近畿大学理工学部社会環境工学科 教授 三星 昭宏氏

講演1：参加型・福祉の交通まちづくりと市民参加

大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻 教授 新田 保次氏

講演2：市民参加の基本：ワークショップの進め方

国際航業株式会社公共ビジネス事業本部戦略企画部 担当部長 大島 明氏

講演3：近畿の交通バリアフリー取組状況

国土交通省近畿運輸局交通環境部消費者行政課 課長 松場 圭一氏

パネルディスカッション 「参加型福祉のまちづくりの推進に向けて」

コーディネーター/新田 保次氏(大阪大学)

パネリスト/石塚 裕子氏(八千代エンジニアリング株式会社技術2部 主任)

清水 煌三氏(ケーエス技術士事務所 代表取締役)

多淵 敏樹氏(兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所 所長)

三星 昭宏氏(近畿大学)

山田 里司氏(池田市都市整備部 部長)

申込方法：所定のお申し込み用紙にご記入の上(下記PDFファイル)、メール又はファクシミリにて、お送りください。

ダウンロードできない方は、「9月29日セミナー参加希望」と明記のうえ、

氏名(ふりがな)、住所、電話、FAX、メールアドレス、会社名、所属、役職、

書籍を購入する・しない をご記入の上、メール又はファクシミリにてお送りください。

お問い合わせ先：交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部 /担当 本田

tel:03-3221-6673、FAX:03-3221-6674、E-mail:k-honda@ecomio.or.jp

今年も第32回国際福祉機器展 H.C.R2005に出展いたします

来る9月27日(火)~29日(木)東京ビッグサイトにおいて開催される国際福祉機器展に当財団のブース(東5ホール5-065)を設置しますので、来館された方はぜひお立ち寄り下さい。

アクセシブルデザインフォーラム・シンポジウム2005

21世紀に入り、日本をはじめ多くの国で、高齢社会の進展が大きな社会課題となってきました。これまで、ある特定の利用者を想定し、その人達向けの限られた製品やサービスの開発を行うことにより、様々な技術や産業の発展が促されてきました。しかし、来るべき高齢社会では「誰にでも利用可能とすること:アクセシビリティ」が時代を支える新しいキーワードとなります。障害のない人達だけではなく高齢者や障害のある人達を含めたより多くの人が、それぞれの立場や状況に応じ

て、使いやすいように配慮された製品やサービス、生活環境の実現が求められることとなります。そこで、様々な関係者が、高齢者・障害のある人達を配慮した社会の実現に向け、適切な情報交換や課題の共有化、共同研究、ルール作りなどを行う場として、アクセシブルデザイン・フォーラム・シンポジウムを開催します。

ここでは、高齢社会に向けた、新しい社会のルール作りを目指した熱心な議論が展開されるものと確信いたしております。みなさまの多数のご参加をお待ちいたしております。

尚、本シンポジウムは「障害者週間」の関連事業です。

日時：12月5日(月)13:30～17:00

場所：経団連ビル(社団法人日本経済団体連合会 14階)地下鉄大手町駅A1 またはC1(徒歩5分)
〒100-8188 東京都千代田区大手町1-9-4 (経団連会館)

定員：460名 (定員になり次第 締め切らせて頂きます)

参加費：無料

<プログラム>

13:30～ 開会挨拶 防衛医科大学教授 アクセシブルデザインフォーラム委員長 菊地 眞 氏

13:45～ セッション1 自治体としてのエバーグリーン実践(仮題) 熊本県知事潮谷義子氏

14:30～ セッション2 公共サービス 内閣府障害者政策担当参事官 長門利明氏

<障害のある方に対する心の身だしなみ～公共サービス窓口における配慮マニュアル>(仮題)

15:00～ 休憩

15:15～ セッション3 障害者・高齢政策 厚生労働省社会援護局障害保険福祉部社会参加推進室室長

<障害者・高齢者の社会参加に関して>(仮題)

15:45～ セッション4 交通 国土交通省総合政策局交通消費者行政課交通バリアフリー対策室長 小澤一男氏

<交通バリアフリー法の見直しと今後の展望>(仮題)

16:15～ セッション5 製品情報 経済産業省環境生活標準化推進室室長 横田 眞氏

<障害者・高齢者製品・サービスの政策・標準化 他>(仮題)

16:45～ 開会挨拶 防衛医科大学教授 アクセシブルデザインフォーラム委員長 菊地 眞 氏

お申込み先及びお問合せ先

ADF シンポジウム 事務局(財団法人日本規格協会 標準部国際課 担当 小峰・三分一)

〒107-0052 東京都港区赤坂4-9-22 虎屋ビル7階 TEL:(03)5770-1596 FAX:(03)5770-1592

E-mail:

<申込方法> 郵送及びFAX、e-mail でお願ひします。

*当日は、事前に申込まれた方から優先的に入場できます。*要約筆記がございます。

氏名、連絡先、TEL、FAX、E Mail をご記入ください。

旅客船ハンドブック「旅客船バリアフリー基準の解説」を発行しました

国土交通省は、国内旅客船のバリアフリー化の指針として、「旅客船バリアフリー設計マニュアル」を策定しているが、旅客船事業者及び造船事業者はこれまで旅客船のバリアフリー化に対する整備の経験も浅く、高齢者や障害者の移動をどのように理解し、整備するのが望ましいのか、その判断に苦慮している意見も多く寄せられていたことから、関係者にヒヤリング等を行い、具体的に分かりやすく説明したハンドブックを作成しました。(1,500円 A4 115頁)

参加型・福祉の交通まちづくり～交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ～発行しました

市民参加をどの様にすすめればよいのかを多様な事例をもとに解説し、今後解決すべき課題を示しています。行政、交通事業者、まちづくり・障がい者団体等への基本テキストとして作成しました。2005年2月25日学芸出版社より発行(本体価格2,900円 A5 272頁)しました。概要は、下記ホームページをご覧ください。お買い求めについては、一般書店で取り扱っております。 <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakugei/mokuroku/book/ISBN4-7615-2357-3.htm>

バリアフリー学習図鑑(CD-ROM)の公開

子供達がバリアフリーや福祉に関する学習を進める上で、障害のある人達の日常の不便さ等を

知り、ハード面のバリアフリー、ソフト面での(心の)バリアフリーを理解し、バリアフリー社会の実現を自分のこととして捉えるため親しみやすいCD-ROMを作成しました。現在、交通エコモ財団のホームページにて公開しています。是非ご利用ください。

http://www.ecomo.or.jp/index_img/kaisetsu.htm

らくらくおでかけネット

現在は、鉄道駅 3,944 駅、空港 83、バス 180、旅客船 456 ターミナルの情報を提供しています。最近の1日のアクセス件数は、約4,000件となりました。特に、携帯端末によるアクセスが増えています。また、ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅が公表されています。なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス:(パソコン版) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>

(携帯版=i-mode,vodafone) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>

(携帯版=EZ-web) http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアルを公開していますが、こちらは、あくまでも地域の市民や学生の皆様などが自主的に評価に取り組まれる時のために提供していますので、ご自由にお使いください。なお、実際に駅を評価される場合は、皆様の自主的な活動として、鉄道事業者の方にご連絡してください。

(4) 行政からのお知らせ

ユニバーサルデザイン政策大綱が公表(国土交通省)

国土交通省では、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、今後、身体的状況、年齢、国籍などを問わず、可能な限り全ての人が、人格と個性を尊重され、自由に社会に参画し、いきいきと安全で豊かに暮らせるよう、生活環境や連続した移動環境をハード・ソフトの両面から継続して整備・改善していくという理念に基づき国土交通行政を推進するため、この度、「ユニバーサルデザイン政策大綱」を策定致しましたので公表いたします。 http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha05/01/010711_.html

「公共サービス窓口配慮マニュアル」の発行について(内閣府)

内閣府は、障害者基本計画(平成14年12月24日閣議決定)に掲げられた「公共サービス従事者に対する障害者理解の促進」を具体化するため、障害のある方が窓口を利用される際に配慮すべき事項を具体的に示した「公共サービス窓口における配慮マニュアル」を作成しました。

マニュアルの作成にあたっては、障害者施策推進本部の下に、全府省庁及び人事院で構成される「公共サービス適切対応推進チーム」を設置し、障害種別の各障害者団体から要望を聴取するとともに、国の公共サービス窓口現場の状況や課題を調査し、これらを踏まえてマニュアルが作成されました。

マニュアルは、国の公共サービス窓口機関で活用するほか、都道府県及びサービス窓口を有する関係団体等にも配布されました。

内容については内閣府ホームページからダウンロードできます。

<http://www8.cao.go.jp/shougai/index.html>

～すべての人々が安心して生活できるバリアフリー環境を目指して～

都道府県別バリアフリー指標の公表

国土交通省では、バリアフリー施設整備の進捗に、地方公共団体の取り組みに差が見られることから、旅客施設、道路、都道府県庁・市町村役場等の公共建築物、バス車両等のバリアフリー化の状況、交通バリアフリー法に基づく基本構想の策定状況等の個別指標について情報収集を行

い、地方公共団体毎にとりまとめて公表することとしました。

これにより、地方公共団体の意識の向上、基本構想作成促進を図り、面的なバリアフリー環境の整備に資することを目的としています。

http://www.mlit.go.jp/barrierfree/barrierfree_.html

交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況（平成17年6月15日まで）

基本構想を作成済みの市区町村 176市町村(209基本構想)

詳細はこちらまで http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrier/jyurijyoukyou_.html

(5) 各種催し物のお知らせ

日経住まいのリフォーム博2005 <http://www.nikkei.co.jp/events/reformhaku/>

日時：9月15日～18日 / 場所：東京ビックサイト

第32回国際福祉機器展 H.C.R2005 http://www.hcr.or.jp/2005kaisaiyoukou_j.html

日時：9月27日(火)～29日(木) / 場所：東京ビックサイト

福祉用具展 in 杜の都2005 <http://tfusvsun.tfu.ac.jp/js/g/tenji/>

日時：10月8日(土)～9日(日) / 場所：東北福祉大学

REHA CARE (リハケア) 国際リハビリテーション展 <http://www.messe-duesseldorf.de>

日時：10月12日(水)～15日(土) / 場所：ドイツ デュッセルドルフ

第14回全国ボランティアフェスティバル 火の国くまもと <http://www.vf-kumamoto.jp/>

日時：10月29日(土)～30日(日) / 場所：グランメッセ熊本、熊本市市民会館、県内6ブロック

Mediphar Taipei 2005 <http://www.taipeitradeshows.com.tw/mediphar/>

日時：11月10日(木)～13日(土) / 場所：台北(TWTC Exhibition Hall)

第18回全国健康福祉祭ふくおか大会 ねんりんピックふくおか2005

<http://www.city.kitakyushu.jp/~nenrincipic/Pages/hw.html>

日時：11月12日(土)～15日(火) / 場所：西日本総合展示場

P.P.C. 2005 第7回西日本国際福祉機器展 <http://www.nishiten.or.jp/fukushi/>

日時：11月13日～15日 / 場所：西日本総合展示場・本館

2005 光州国際シルバー博覧会 <http://www.seniorfair.or.kr/>

日時：11月18日～21日 / 場所：金大中コンベンションセンター

高齢、障害と自立に関する国際会議 <http://www.icadi.phhp.ufl.edu/>

日時：2006年2月1日～4日 / 場所：フロリダ大学

バリアフリー2006 <http://www.itp.gr.jp/bf/>

日時：2006年4月20日～22日 / 場所：インテックス大阪

(6) その他

書籍に関して

現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページへ。 http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/barrier_free_index.html

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、コラム等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンをご転送頂く際は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp FAX : 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべく E-mail で送付させて頂きたいと思います。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp FAX : 03-3221-6674

コ ラ ム

先日、八ヶ岳に登ってきた時の話だが、八ヶ岳に少し登り始めたところで、私の前に片足のない松葉杖を使って登山する青年がいた。ちょっと心配だったので、声をかけ、天気のことや、コースのことを話しながら様子をうかがい、その時は、途中の赤岳鉱泉までかなと思いながら、女性の介助者もいたので自分なりに安心して先を急いだ。

その日の頂上、硫黄岳につき宿泊する硫黄岳小屋での夕食時、なんとその松葉杖の青年がそこにいたのである。硫黄岳までの急勾配の道をどうやって上がってきたのか、明日は何処まで行くのか、気になりながら他に登山者がいたので、ほんの僅かしか話せなかったが、その青年と話しているうちに、生きる力への感動と笑顔に触れることができたのである。最近の殺戮のニュースを聞くたびに、「なんで」と耳を覆うような話ばかりであるが、このところはそのような嫌なニュースを聞くたびに、その青年のことを思い、晴々とした気持ちになれる。この夏は、大きな、大きな思い出ができた。

青年に感謝！ 出会いに感謝！ 八ヶ岳に感謝！ である。